



2026 年 8 月 14 日

各位

会 社 名 ア ジ ア ク エ ス ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 C E O 桃 井 純
(コード番号：4261 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 外 谷 悠 一 郎
(TEL 03-6261-2701)

新製品の企業化に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、以下の通り、複数の AI エージェントと社内の業務システムとを接続し、AI エージェントによる業務データへのアクセスを制御・記録・管理するためのアクセス基盤である新製品「GAIA Governed AI Access」の企業化を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 企業化に至るまでの経緯

近年、企業の業務効率化や競争力強化に向けた AI 活用への期待が急速に高まっております。一方で、組織内への AI 導入が進むにつれ、複数の AI エージェントが社内システムに個別接続する所謂「野良 AI エージェント」の増加が課題となっています。これにより権限管理が散漫となり、情報漏洩リスクへの懸念から AI の本番導入を躊躇するケースがあります。

現在の AI 市場全体を見渡すと、LLM (モデル層) やアプリケーション層のサービスは充実しているものの、業務データソースと AI を安全につなぐ「基盤層」の整備は比較的手薄な状況にあると考えられます。

当社は「人と AI が共創する社会」を目指す AI インテグレーターとして、2025 年 7 月に AI の研究開発部門およびセキュリティ専門部門を新設し、自らを AI ネイティブな組織へと変革する取り組みを進めてまいりました。今回提供を開始する新製品「GAIA Governed AI Access」は、この変革の過程において社内課題を解決すべく独自開発され、自社運用を通じて実用性と安全性を磨き上げたアクセス基盤です。

自社実践によって有効性が証明された本新製品は、同様のセキュリティ課題を抱える多くの企業に対して、安全性と利便性を両立する強力な解決策となり、このような背景から、本新製品の本格的な外部提供（企業化）を決定いたしました。

2. 新製品の概要

(1) 新製品の概要

当社は、複数の AI エージェントと社内の業務システムとを接続し、AI エージェントによる業務データへのアクセスを制御・記録・管理するアクセス基盤「GAIA Governed AI Access」（以下「本製品」といいます。）を開発し、クラウド型サービスとして提供を開始いたします。

本製品は、特定の AI モデル又は製品に依存しない中立的な基盤として、Anthropic 社が主導する AI 接続の標準規格である MCP (Model Context Protocol) に準拠しており、主として以下の機能を有しております。

- ・ 権限パススルー機能：AI エージェントに固定的かつ広範な権限を付与するのではなく、利用者本人の権限範囲内でのみデータ参照を可能とする機能
- ・ 監査ログ機能：AI エージェントを経由した情報アクセスを自動的に記録し、アクセス主体、日時、権限及び操作内容を追跡可能とする機能
- ・ ユーザー・ロール（権限）管理機能：Google Workspace 及び Microsoft Entra ID 等の既存の ID 基盤と連携し、ユーザーごとの利用可能範囲を管理する機能
- ・ その他の機能：接続先管理機能、権限制御 RAG エンジン、データ・機能の横断管理（オントロジー）機能及びマイアプリポータル機能

本製品は、特定の AI モデル又はベンダーに依存しない中立的な基盤として、複数の AI エージェントによる業務システムへのアクセスを一元的に管理し、利用者本人の権限範囲内でのデータ参照及び全アクセスの自動記録を実現します。詳細は、別紙 PR 情報をご参照ください。

（２）新製品の連結売上高への影響

当期（2026 年 12 月期）の売上高への影響は軽微であり、当期連結業績予想（2026 年 8 月 14 日公表分）へ織り込み済です。

（３）新製品の企業化のために特別に支出する費用

当期（2026 年 12 月期）の新製品の企業化のために特別に支出する費用の金額は軽微であり、当期連結業績予想（2026 年 8 月 14 日公表分）へ織り込み済です。

３．日 程

（１） 取締役会決議日	2026 年 8 月 14 日
（２） 販売開始日	2026 年 8 月（予定）

４．今後の見通し

本製品は特定の AI モデル又はベンダーに依存しない中立的な基盤として相応の市場ニーズが見込まれるため、本件の当社グループの業績への影響については、今後 3 年の間には業績向上に資する可能性があるものと考えております。なお、業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

（参考）当期連結業績予想（2026 年 8 月 14 日公表分）及び前期連結実績

（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 （2026 年 12 月期）	5,323	200	199	99
前期連結実績 （2025 年 12 月期）	4,920	439	447	290

※上記に記載しました業績予想数値は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、業績予想等の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

各 位

2026年8月14日
アジアクエスト株式会社
代表取締役会長CEO 桃井 純
コード番号：4261 東証グロース

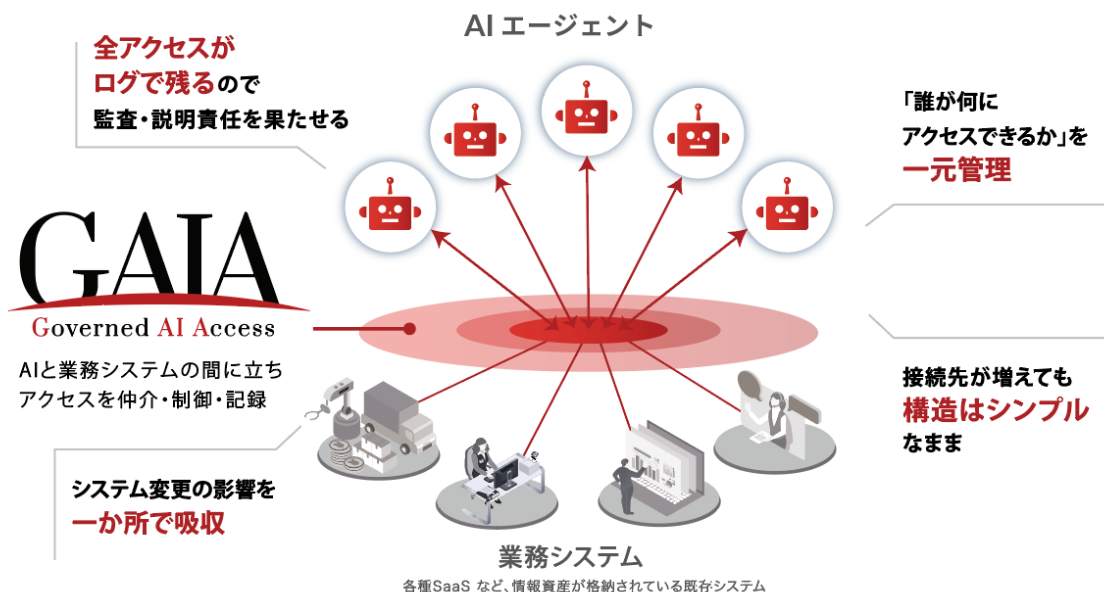
AIエージェントと業務システムをつなぐアクセス基盤

「GAIA Governed AI Access」の提供を開始

AIエージェントの一元管理を実現。Claude・ChatGPT・Gemini等のAIに対応

アジアクエスト（東京都文京区、以下 当社）は、複数のAIエージェントと社内の業務システムをつなぐアクセス基盤「GAIA Governed AI Access」（以下、GAIA）の提供を開始します。GAIAは、AIエージェントによるデータアクセスを制御・記録・管理するプラットフォームです。権限パススルーによる安全なデータ参照と、全アクセスの自動ログ記録により、企業のAI本番導入を後押しします。

アジアクエスト ⇒ <https://www.asia-quest.jp/>



AIエージェントのデータアクセスを「GAIA」で一元管理

■サービス概要

GAIAは、特定のAIモデルや製品に依存しない中立な基盤として、AIエージェントを安全・統合的に管理します。

- ・サービス名：GAIA Governed AI Access
- ・提供形態：クラウド型
- ・対応AI：Claude/ChatGPT/Gemini/Copilot/ChatGPT Enterprise/独自エージェント等
- ・接続規格：MCP（Model Context Protocol）準拠—Anthropic社主導のAI接続標準仕様

■主な機能

▶権限パススルー

AIエージェントは固定の広い権限を持たず、利用者本人の権限の範囲内でのみデータを参照。「権限を渡しすぎる」問題を根本から解消します。

▶全アクセスの監査ログ

GAIAを経由した情報アクセスを自動記録。誰が・いつ・どの権限で・何を操作したかを追跡可能にし、コンプライアンス・稟議対応を後押しします。

▶ユーザー管理/ロール（権限）管理

GoogleWorkspaceやMicrosoftEntraIDなど既存のID基盤と連携。ユーザーごとにアクセス可能なMCP・データ・エージェントを管理します。

▶接続先管理

対象のSaaSや外部システムへの接続設定を一元管理。接続先を増やしても構造はシンプルなまま維持されます。

▶権限制御RAGエンジン

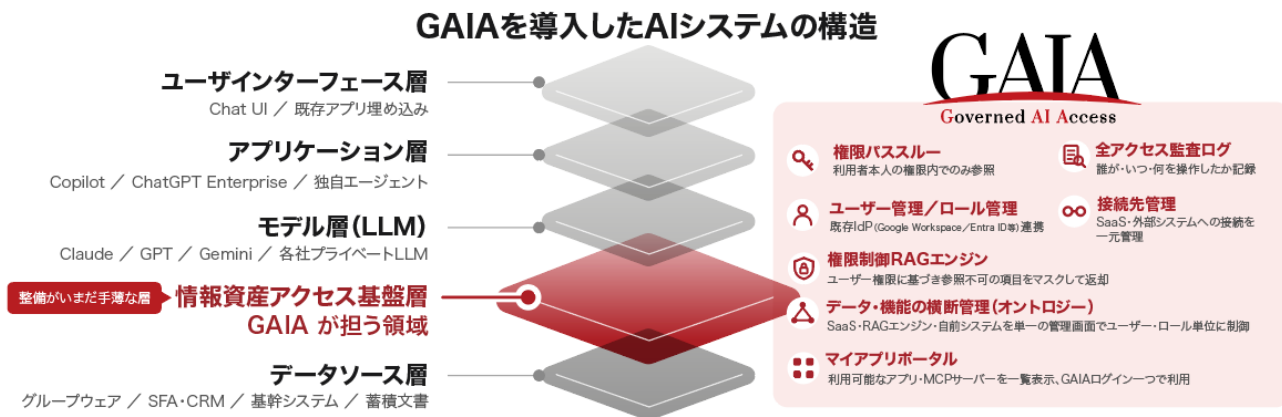
ドキュメントの参照権限を項目レベルで制御。ユーザーの権限に基づき、参照不可の項目をマスクして返却します。

▶データ・機能の横断管理（オントロジー）

接続先のSaaS・RAGエンジン・自前システムを問わず、単一の管理画面で利用可能なデータとシステム操作をユーザー・ロール単位で制御します。

▶マイアプリポータル

利用者は自分が使えるアプリケーションやMCPサーバーを一覧で確認。GAIAへのログイン一つで横断的に利用できます。



■接続対象システム（主なもの）

- ・グループウェア：Microsoft365/Slack
- ・顧客・案件管理：SFA/CRM（Salesforce等）
- ・基幹システム：ERP/会計/人事システム等
- ・蓄積文書：社内図面・議事録・各種ドキュメント等

■導入期間イメージ

初期導入は以下の4フェーズで進めます（目安：最短6～7週間）。実際の期間はお客様の環境により異なります。

1. 事前設計（1～2週間）

要件ヒアリング、サイジング、IdP/SaaS接続点の合意、ネットワーク要件確認

2. 環境構築（3～7日）

インフラプロビジョニング、GAIA本体インストール、IdP連携・コネクタ設定

3. データ接続（1～2週間）

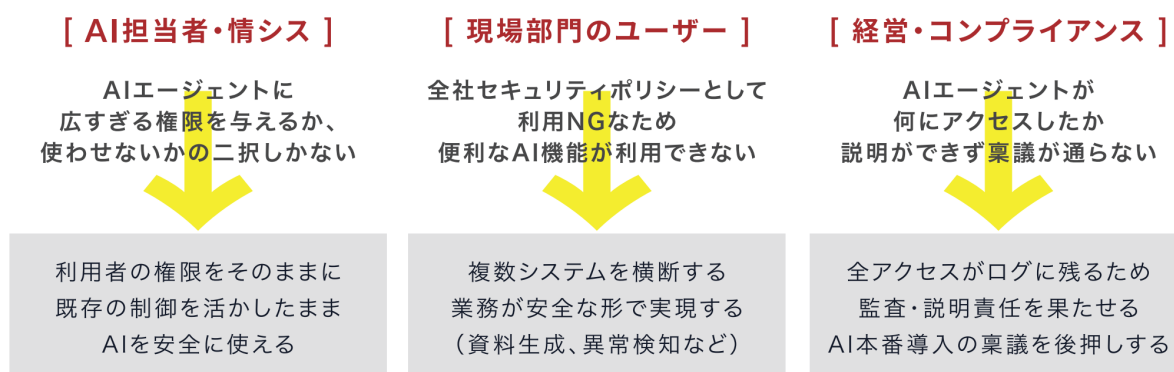
対象SaaS・基幹システムのコネクタ設定、認証情報登録、ポリシー初期設定

4. 本番化（1～3週間）

ユーザー展開、監査ログ要件確認、障害対応訓練、運用ドキュメント整備

■GAIAでできる業務別課題解決例

AIエージェントの活用が進むほど、立場によって直面する課題は異なります。GAIAは、AI担当者・情シス部門、現場部門のユーザー、経営・コンプライアンス部門と言った、様々な部門が抱える権限管理・利用範囲・説明責任の課題に対応し、安全性と利便性を両立したAI活用を後押しします。



**御社のシステムをAIエージェントで高度化。
安全に・権限制御しながら、業務に最適化されたAI活用を実現。**



基幹システム
(ERP)



文書・ファイル管理
(ファイル、コンテンツ管理)



営業・顧客管理
(SFA、CRM)



コミュニケーションツール
(チャット、メール、会議メモ)

特定のAIや製品に依存しない、オープンで安全なアクセス基盤を提供

■「野良AIエージェント」による権限管理の限界

企業のAI活用への期待が高まる中、組織内でのAI導入を阻む構造的な課題として浮上しているのが「野良AIエージェント」の問題です。複数のAIエージェントが社内システムに個別接続する状態が広がると、「どのAIが・いつ・どのシステムにアクセスしたか」を把握できず、権限管理も散漫になってしまいます。これによ

り、セキュリティの観点からAIに「権限を渡しすぎる」か「全く使わせない」かの二択を迫られ、結果的にAI活用が止まってしまうケースが後を絶ちません。また、AI業界全体を見渡すと、LLM（モデル層）やCopilot等（アプリケーション層）のサービスは充実している一方で、業務データソースとAIを安全につなぐ「基盤層」はいまだ手薄な状況です。この空白を埋めるために当社が開発したのが『GAIA』です。

■安全なAIエージェント活用に向けた権限管理基盤 | 「GAIA」開発の背景と自社実践

当社は、「人とAIが共創し、人の創造的な価値を最大限に発揮できる社会」を目指すAIインテグレーターです。AIエージェントの急速な普及により、IT人材市場の二極化は加速しています。——コードを書くだけの単純作業はAIに代替されていく一方、複数のAIを統合・オーケストレーションし、ビジネス課題そのものを解決できる高度IT人材の価値は、ますます高まる——当社はその信念のもと、採用・育成・組織文化の全てをアップデートし続けています。約400名の国内エンジニアを擁し（2025年12月末時点）、ビジネス課題の理解から設計・実装まで担える「ビジネスエンジニア」が多数在籍。2025年7月には、クライアントに提供するAI活用の研究開発部門と、AIセキュリティ面を支える専門部門という「攻めと守り」の2部署を新設し、自らAIネイティブな組織へと変革を進めています。『GAIA』は、まさにその変革の過程で生まれ、自社での実践と運用のなかで磨き上げてきた、当事者だからこそ届けられるアクセス基盤です。

■アジアクエストのセキュリティへの取り組み

全システムにおいて、情報セキュリティを設計の根幹に据えています。役割・職責に基づく厳格なアクセス権限管理と最小権限の原則を徹底し、必要な人が必要なデータにのみアクセスできる環境を実現します。利用するAIツールはいずれも企業向けセキュリティ基準に準拠したサービスを採用。社内データ・顧客情報がAI学習に利用されないことを保証するとともに、AI攻撃を受けた際の影響範囲を最小化する運用体制を整えています。また、社内規程・ガイドラインの整備、定期的な監査・モニタリング、全社員へのセキュリティ教育を継続的に実施し、安全なAI活用環境の維持に努めています。

■関連プレスリリース

アジアクエスト、AIネイティブな組織づくりに向けた全社AI基盤の構築を推進

<https://www.asia-quest.jp/information/20260512>

<アジアクエスト株式会社>

アジアクエストは、高度なAI技術を核に、AIX（AIトランスフォーメーション：AIによる業務変革）およびDXの実現を支援するAIインテグレーターです。AI・IoT・クラウドなど多様な技術に加え、建設・製造・小売といった各業界の知見をあわせ持つプロフェッショナル集団として、コンサルティングから設計・開発・運用、人材育成まで一貫して伴走。PoCから大規模システム構築まで、確かな実装力で応え、お客様と共に新たな価値の創出と変革を実現しています。

News一覧→<https://www.asia-quest.jp/information> / TechBlog→<https://techblog.asia-quest.jp/>

<会社概要>

- ・企業名：アジアクエスト株式会社
- ・代表者：代表取締役会長CEO 桃井 純
- ・本社：〒112-0004 東京都文京区後楽2-6-1住友不動産飯田橋ファーストタワー27F
- ・URL：<https://www.asia-quest.jp/>
- ・設立年月：2012年4月
- ・資本金：414,358千円（2026年6月末 現在）
- ・事業内容：デジタルトランスフォーメーション事業
- ・主なサービス：DXコンサルティング／システム開発／プロダクト開発

問い合わせ先

アジアクエスト株式会社 管理部
TEL:03-6261-2701 Email: ir@asia-quest.jp